

一 帰還民女性の経済的な自立を支援する一 コンゴ民主共和国 南キブ州

ウィメン・リーディング・フォー・ライブラフツ
(WLL) ・プロジェクト



プロジェクトの目的

短い周期で収穫可能な農作物
の生産支援を通じて家計の収入
増加を目指す

© UNHCR DRC

場所

コンゴ民主共和国
南キブ州、カジミヤ
(Kazimya)

プロジェクト実施 期間

カジミヤにおいて
12ヶ月(※1)

予算

6万3585USドル
(約640万円)
注: 1ドル=106円

プロジェクト実施 パートナー

Women for Women
International
www.womenforwomen.org

10年以上に及ぶ紛争により、コンゴ民主共和国で暮らす多くの人々は生活の糧を失いました。人口密度が高く、またタンザニアやブルンジから多くの帰還民が戻ってきている、コンゴ東部にあるフィジ(Fizi) 地方の状況は特に厳しいものがあります。2005年10月以降、4万人以上の人々が UNHCR の支援を受けてこの地方に帰還しましたが、安定した収入源がないために極度の貧困状態の生活を送り、食糧も不足しています。ウィメン・フォー・ウィメン・インターナショナル

(Women for Women International) の調査から、女性の牧畜技術や小規模事業における経験は平時・戦時を問わずに家族が生きていくうえで役に立つということが明らかになっており、女性のスキル向上はコンゴ民主共和国が復興する上で重要な鍵となります。この調査結果に基づき、本プロジェクトでは、農業を通じて帰還民女性の自立を支援します。近隣の2つの村においても、同様のプロジェクトが順調に実施されています。

目的

帰還民女性に対し、3~4ヶ月の短い周期で収穫可能な農作物の栽培や販売に関するトレーニング及び支援

活動内容

- 農作物の生産と加工に関するトレーニング(土壌施肥、野菜や備蓄の自然保存、腐食防止、貯蔵技術)
- 農業協同組合の設立
- 農業協同組合を管理するためのトレーニング
- 共同農耕地の開墾及び農作業を行うための水牛の提供
- コミュニティ開発活動に関する意識向上(対象者は男女ともに)
- 女性が小規模事業を立ち上げる際に必要な、小額の助成金の支給
- 要望に応じて読み書きや計算の教室

期待されるプロジェクトの結果

- 女性100名の収入が増える(55名は帰還民、20名は性的暴力の被害者、10名は国内避難民、15名は地域コミュニティで暮らす弱い立場にある女性や少女)
- カジミヤ(プロジェクト実施地)における農業生産性が向上する

